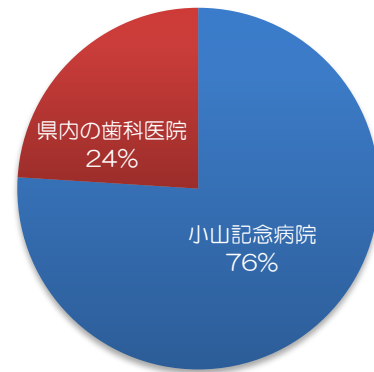


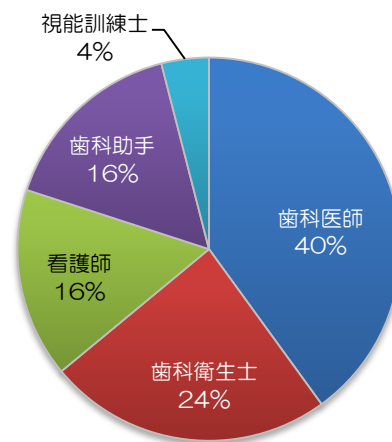
●本研修会参加者 25 名の所属は次のとおりであった。

所属施設	人数
小山記念病院	19
県内の歯科医院	6



●本研修会参加者 25 名の職種は次のとおりであった。

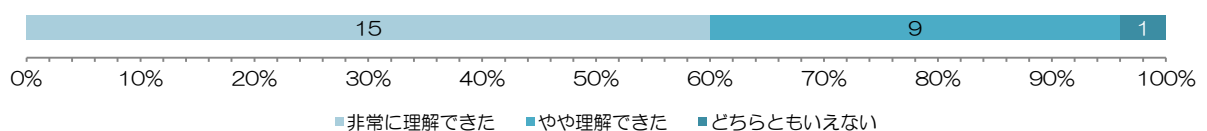
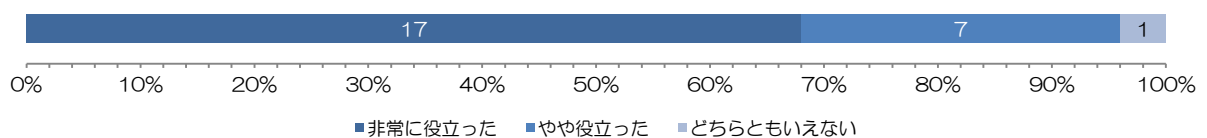
職種	人数
歯科医師	10
歯科衛生士	6
看護師	4
歯科助手	4
視能訓練士	1



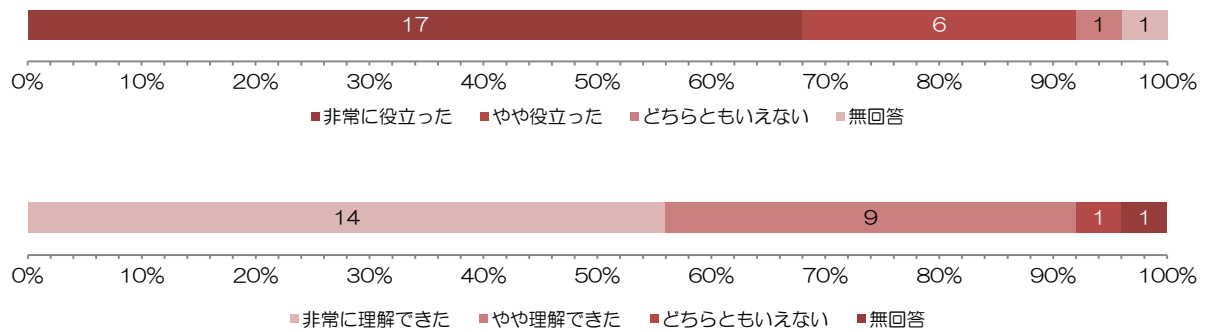
●本研修参加者 25 名にアンケート調査を実施し、25 名全員から回答を得た。(回収率 100%)

1. 研修の内容について

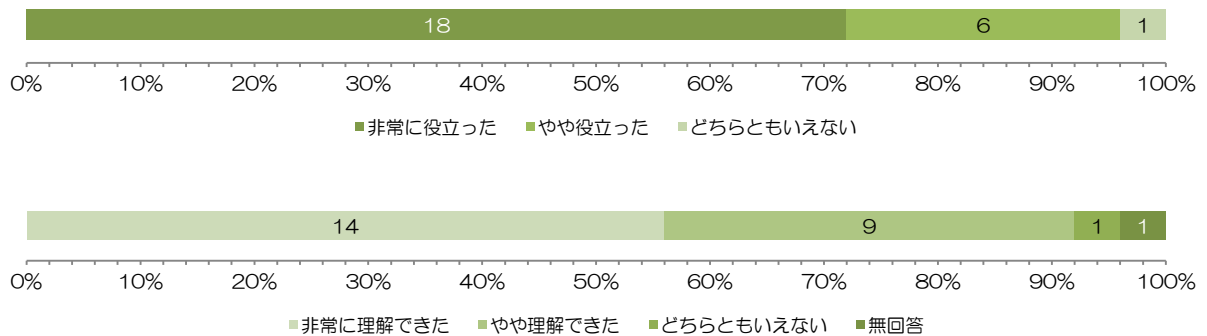
1) 口腔ケアの必要性



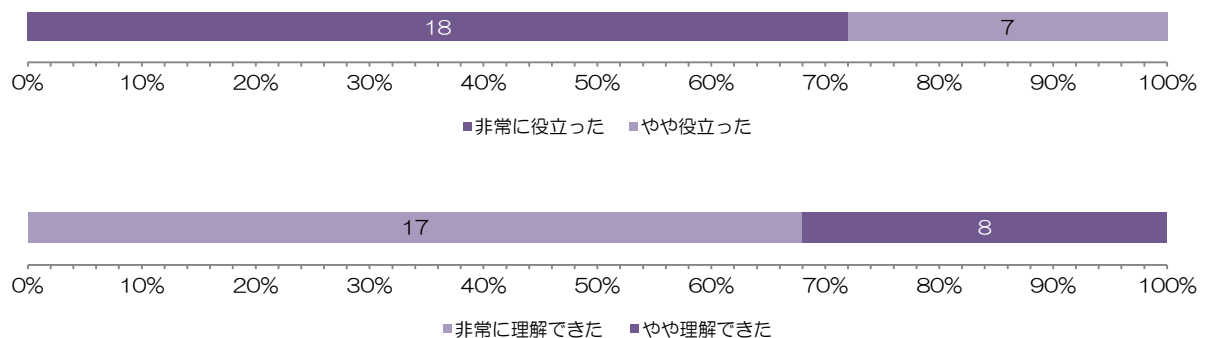
2) がん手術と口腔ケア



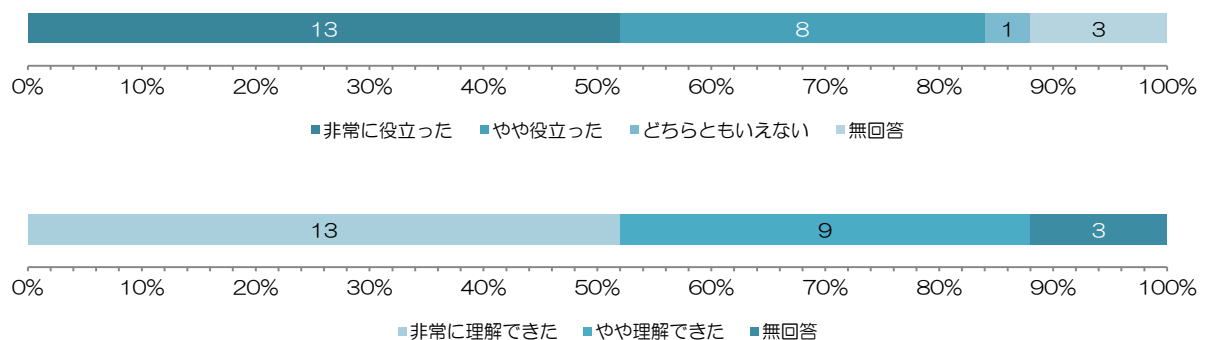
3) がん薬物療法と口腔ケア



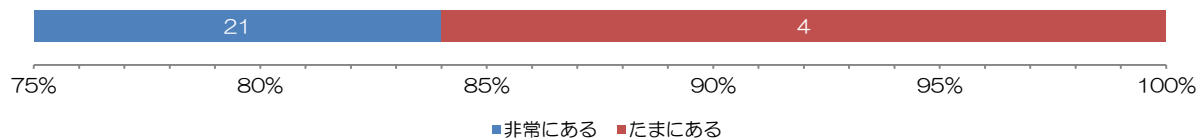
4) 口腔ケアの実際



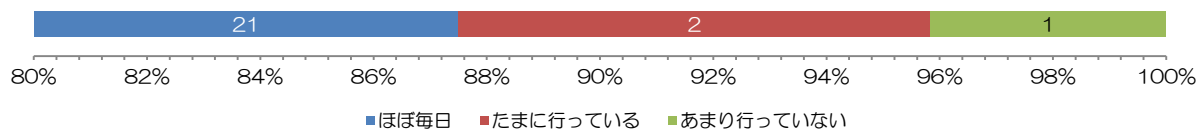
5) 院内での口腔ケアの導入の仕方



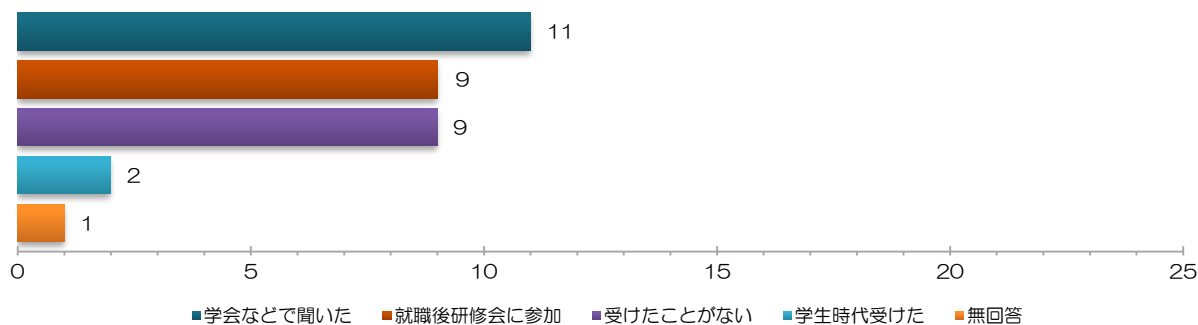
2. 現在、日常診療において口腔ケアの必要性を感じることがありますか？



3. 日常診療において口腔ケアを行っていますか？



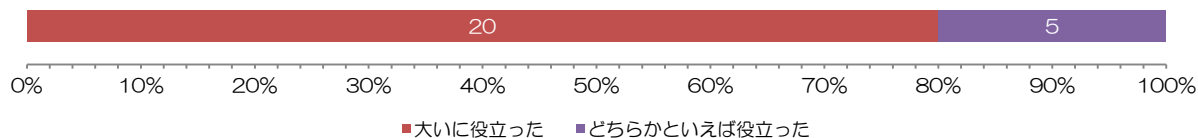
4. がん患者の口腔ケアについての教育を受けたことがありますか？(複数回答)



[単位：件]

(5,6の質問は次頁)

7. 研修会の受講し、今後のがん患者の診療において役立つことができましたか？



5. 院内(または自施設)の医科と歯科の連携の現状について教えてください。

内 容	職 種
よく紹介させていただいております。助けていただいております。	歯科医師
病棟口腔ケア、周術期等口腔機能管理、NST、他科依頼での治療依頼など。	歯科衛生士
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアの介入。 ・周術期等口腔機能管理の依頼、介入。 ・BP 製剤使用前の歯科受診の依頼、介入。 ・入院中患者の歯科治療依頼、介入。 	歯科助手
周術期、口腔ケアなどを行っています。	歯科助手
周術期口腔機能管理に関してはある程度の確立はできている。	歯科医師
他科依頼という制度で高寄り周術期等口腔機能管理を行っています。	歯科助手
周術期と口腔ケアを歯科衛生士さんが良く行ってくれています。	歯科助手
消化器外科や乳腺科を中心に手術前の周術期等口腔機能管理を行っております。また、脳外科の術後や身体障碍の患者に対しての口腔ケアを行っております。	歯科医師
医科歯科連携ができていない科があり、口腔ケア、周管の依頼に差があり、介入数の差がある。	歯科衛生士
当院においても入院時に口腔ケア介入の同意書の取得を開始したところ、介入件数が大幅に増加した。看護師への口腔ケアの知識や 技術の普及がまだ足りないところがありますので勉強会を実施していかねばならない。	歯科衛生士
医科から歯科への入院患者の治療依頼・口腔ケア依頼を受けたり、逆に歯科治療する際に全身疾患がある患者の情報を提供してもらったりしています。連携はある程度とれていると思います。	歯科衛生士
口腔ケアや周術期などである程度は連携が取れていると思います。しかし、まだまだ足りないところがあると思われます。(口腔内汚染がひどい入院患者の口腔ケア依頼がなかったり、周管の介入がないなど)	歯科衛生士
緩和ケアの入院患者さんは介入してもらっている。周術期口腔ケア。	看護師
院内歯科が病院内にあり、入院時に歯科介入をするか説明があったり、周術期に歯科介入が入ったりなどの連携があります。	看護師
周術期口腔ケア、入院時口腔ケア介入の希望の有無を患者家族に確認する。(希望者は衛生士が介入する。)	看護師
近隣の施設に口腔ケアを行っている。	歯科医師
時々あります。	歯科医師
他科からの依頼やNST 時に口腔内を審査して口腔ケアに入っている。	歯科医師
近くの前田委員との周術期ケア連携をしている。千葉県旭市の旭市立病院とのがん患者の術後管理。	歯科医師

6. 院内(または自施設)の医科と歯科の連携をすすめるための必要な支援はありますか?

内 容	職 種
医科での歯科の必要性の理解。リンクナース、入院窓口での連携のすすめ方。	歯科衛生士
入院時、口腔ケア介入のアナウンス、他職種への勉強会開催。	歯科助手
入院時に口腔ケアのアナウンス。	歯科助手
特になし。	歯科医師
口腔ケアをもっと多くの人に知っていただいた方が今後の予防とかにつながると思います。	歯科助手
口腔ケアの大切さを多くの人に知っていただければもっと多くの患者様に口腔ケアが行えると思います。	歯科助手
医師だけでなく周術期患者には看護師を通して相談を受けることもあります。	歯科医師
入院時にNsが口腔状態を確認するよう院内に周知する。	視能訓練士
リンクナース、入院案内と連携し支援してもらおう必要があると思った。今は病棟Nsとだけではなく、入院に関係するスタッフにも口腔ケアの必要性を知ってもらい依頼が来るようにしたい。	歯科衛生士
医科Dr.への周知。	歯科衛生士
院内での勉強会など。	歯科衛生士
病棟看護師と連携をとることが難しいときがあります。	歯科衛生士
連携に対する知識を広めること。保険に点数がついていることを知らせるなど。	歯科医師
医科の先生の口腔ケアの重要性への理解を得るための支援。	歯科医師

8. 本日の感想および、今後講義にとりあげてほしいテーマ

内 容	職 種
Nsや他施設へ向けての勉強会。	歯科衛生士
周術期等口腔機能管理介入時の説明をするときに、患者様にうまく説明できずに悩んでいたのも勉強になりました。ありがとうございました。	歯科助手
口腔ケアの大切がとてもよくわかりました。	歯科助手
口腔ケアの必要性や予防を知ることによって今まで以上に患者さんの口腔内を注意して診てみようという気持ちになりました。	歯科助手
口腔ケアの大切さがわかるお話でした。挿管、気管切開の患者様の口腔内がとてもきれいになっていて驚きました。	歯科助手
具体的な内容が聞けて良かったです。	歯科医師
他の病院の口腔ケアの方法が知れてよかった。	歯科衛生士
どのような内容の勉強会をやっているのか。Nsやそのほかの職員によって内容はやはり変えているのか。同意がやはり取れない、即入院の患者の時にはだれがどのように同意をとっているのか。	歯科衛生士
とても参考となる講義ありがとうございました。今後当院においても取り入れられる手技がありました。ありがとうございました。	歯科衛生士

この勉強会に参加するのは2回目ですが改めて口腔ケアの重要性を理解することができました。ありがとうございました。	歯科衛生士
大変勉強になりました。2回目なので以前よりもしっかり内容を理解することができました。また、機械があればぜひ参加したいです。ありがとうございました。	歯科衛生士
ありがとうございました。	歯科医師
改めて口腔ケアの重要性について理解を深めることができました。	歯科医師